

「ワクワク」な夏休みミニ研修(☆地上の星☆彗) レポート6

テーマ『学級づくりについて』(元村先生)



もう、カッコいい。「あんな教師になりたい」「あんな風に考えられる人になりたい」と多くの先生方が思われたのではないのでしょうか。そう感じるのは、「言葉」にこだわっておられる元村先生の語られる「言葉」と、普段のお姿にブレがないからだと思います。

学級づくりのこだわりとして、①考動、②ありがとう、③Let's try の3つに関わる「言葉」を教えてくださいました。「心が変われば、行動が変わる」「思った人になれる」「言葉は言った本人が一番聞いている」「不安よ来たれ!」「不安は可能性の裏返し」などの名言。

子どもたちの最大の教育環境は、私たち教師ですね。その教師の言葉、大切です。

テーマ『算数授業の基礎・基本』(佐々木先生)

授業は、子どもたちの「わからない」を「わかる」に変えること。でも、授業の冒頭から「算数を学ぼう」と思って座っている子は少ないことでしょう。教師が「教えたい」と思っていることを、子どもたちの「学びたい」に変えていくためには、指導技術が必要になります。1つの指導技術だけではなく、目の前の子どもの実態に対応するためには、たくさんの指導技術を持っておくことが大切になります。今回は、「問題提示」の場面での指導技術をたくさん示していただきました。

後半には模擬授業形式で指導技術を示しながらも、結局は複数の指導技術の中から選択するのは教師。教師としての「観」や「何のため」という明確な目的をもっておく大切さを教えていただきました。



座談会 テーマ『2学期やってみたいこと』



休み明けは、心理的距離があるから、ゲームなどで距離を縮めないかね。



「言葉」、大切だね。子どもたちが前向きになる言葉、使いたいね。



充実のミニ研修、ありがとうございました

府中南小には、今回ミニ研修をしてくださった先生だけではなく、たくさんのスペシャリストがいる。そんな先生方から、学ぼうとスタートした「ミニ研修(地上の星)」。とても充実した学びになりました。担当してくださった先生方はたくさんのご準備をしてくださり、聞いてくださった先生方はたくさんのお話を聞き取り、自分事として考えてくださりました。こんな充実の研修が展開できる府中南小学校は、すごい。学んだことを子どもたちの指導に、つなげていきましょう。ありがとうございました。